

# 環境県民フォーラムだよ！り

VOL. 40 2017年10月1日 発行

平成29年度奈良県環境県民フォーラム総会を開催しました！  
奈良県環境総合計画（2016-2020）を協働で推進していきます



奈良県環境県民フォーラムは今年8月に20周年を迎えました！

## 【第1部 総会】

4月18日、奈良県文化会館で平成29年度総会を開催しました。楠下代表委員より、設立後20年目を迎えるフォーラムの更なる活動の展開を目指し、今年度の事業計画に準拠して取り組んでいく旨の挨拶がありました。続いて、ご来賓の奈良県景観・環境局 西村次長様よりご挨拶を賜り、県環境政策課からは西井課長、芳川課長補佐にもご参加いただきました。本総会には、学識経験者や団体等、計39名の委員が出席しました。



楠下代表(左)及び県景観・環境局西村次長(右)による挨拶

### ● 平成28年度事業報告・平成29年度事業計画について

平成28年度事業報告として、全体事業・分科会事業の実績報告及び収支決算と会計監査の報告があり、承認されました。次に、10人委員会委員の選任が行なわれるとともに、平成29年度事業計画及び予算案について審議を行い、満場一致で承認されました。主要事業及び各分科会の取り組みは下記のとおりです。

#### ○フォーラム20周年記念大会の実施について

#### ○各分科会の取組

##### <エネルギー分科会>

植樹ハスツアーやエコッキング教室の開催、エネルギー講演会の開催 など

##### <エコライフ分科会>

河川浄化への啓発活動、地域が育む川づくり、エコ見学会の開催 など

##### <自然環境分科会>

自然体験教室や自然環境セミナー（フォーラム20周年記念大会と同時開催）の開催、菜の花プロジェクトの推進 など

##### <資源活用分科会>

資源循環の促進を図る学習会・見学会の開催、関係機関との連携による3Rの推進 など

### ● 寄付金授与及び感謝状贈呈式

イオンリテール株式会社様及び市民生活協同組合ならコープ様から環境県民フォーラムへの寄付を受けて、楠下代表委員から、感謝状が贈呈されました。イオン奈良店のマーケティング課長桐山誠夫様、ならコープの副理事長中野素子様にご出席いただきました。



イオンリテール株式会社様

市民生活協同組合ならコープ様

## 【第2部 フォーラム交流会】

総会に引き続き、交流会を開催しました。まず、元代表の奈良教育大学 松村桂子名誉教授より「環境県民フォーラムの20周年を振り返って」と題して、これまでの歩みをご講演いただきました。次に、県環境政策課より「きれいに暮らす奈良県スタイル」の取組概要について、また、県廃棄物対策課からは、PCBの処理方法など最新の環境法規制の改定内容についてもご紹介いただきました。

その後、菜の花プロジェクトで開発された食材を賞味しながらの交流会を開催し、会員同士による活発な意見交換が行なわれました。



松村名誉教授によるご講演

(事務局)



## エネルギー分科会 エネルギーセミナーを実施しました

2月23日（木）にエネルギーセミナーを開催しました。昨年4月の電力自由化に続き、今年の4月にガスの自由化も始まることを受け、「エネルギーの自由化」をメインテーマにセミナーを行いました。

セミナーでは、電力・ガスの自由化についての基本的な考え方を説明するとともに、実際に電力・ガスビジネスを展開されている企業・団体等の各担当者様から情報を提供して頂きました。

大阪ガスさんからは、「都市ガス自由化の手続きと大阪ガスの取り組み」について、ガス自由化に伴うガス事業の仕組み等の変更点をはじめ、電力とのセットによる料金プランの内容、保安体制などについて分かりやすくご説明頂きました。

ならコープさんからは、「ならコープの環境・エネルギーの取り組み」と題して、再エネ（再生可能エネルギー）による発電の取り組みや地域での再エネや省エネの普及事業（再エネ協同基金）、電気小売事業（ならコープでんき）への参入等、様々な取り組みについてご説明頂きました。

ガス自由化に関して踏み込んだご質問や再エネ普及の今後の取り組みの方向性へのご質問等、様々な観点からのご質問があり今後のエネルギー自由化の動向に大きな関心が寄せられていると感じられました。



消費者にとって、その契約の選択肢が多様化することは喜ばしいことではありませんが、消費者自らもその選択肢を良く理解し、選択しなければならないことを実感しました。

（奈良環境カウンセラー協会 阪元）

## エコライフ分科会 施設見学会を実施しました

8月1日（火）に、王寺町にある大和川の関連施設2か所を分科会メンバー6名で見学しました。

午前中は、大和川と葛下川（かつげがわ）の合流地点（王寺町地先）において、平成15年に敷設された礫間（れきかん）接触酸化浄化施設を見学しました。前日の夜間に降った雨の影響で河川が増水しており、また、施設が埋設されていることもあって、施設の入口及び出口を確認できず、予定していた施設の前後でのパックテストによる水質検査を断念しました。

午後からは、亀の瀬の地滑り対策事業の現場見学を行いました。亀の瀬は生駒山地と金剛山地に挟まれた、大和川渓谷の下流に向かって右岸のさほど急でない山地を指し、大和川河川敷にある亀に似た大石「亀石」がその名の由来となっています。亀の瀬の地滑りは古くから知られていますが、資料の残っている明治以降でも、明治36年、昭和6～8年、昭和42年に大きな地滑りが発生し、大和川の川床の隆起や土砂による河道の閉鎖により奈良盆地が浸水被害を受けています。今後、閉塞した土砂ダムが決壊するようなことがあれば、大阪平野に甚大な被害が及ぶ恐れがあることも指摘されてます。地滑り対策として、地中のすべり面に地下水が溜まらないよう、多数の集水パイプを神経のように地下に敷設し、排水トンネルなどで集めて大和川に排水しています。自然と人間の壮大な戦いの歴史を感じさせられました。

（奈良環境カウンセラー協会 橋本）





# 資源活用分科会 第1回見学会 報告



7月14日(金)に、京都市にある「風伝館」と「魚(うお)アラリサイクルセンター」を見学しました。「風伝館」は、様々な環境関連ビジネス(産業廃棄物のリサイクルや南三陸でのバイオエネルギー化施設の稼働など)を展開する「アマタグループ」が運営する施設です。京町屋をリノベーションした建物で、1階はイベント・セミナーなど市民や団体・企業などに開放し社会活動の場として利用されています。また、2階はアマタの歴史・理念・事業を紹介するミュージアムとなっています。

続いて訪れた「京都市魚(うお)アラリサイクルセンター」は、全国で唯一自治体が運営している魚アラの飼料化施設で、環境問題に力を入れる京都市らしい施設です。1年間で約5,000tもの魚アラを魚粉と魚油に分解して、魚粉は鶏の飼料に、魚油は燃料としてセンターのボイラーに使われています。飼料としての売り上げは年間1億円ほどですが、その倍発生する経費に税金が投入されていて、環境事業には課題が山積していることを感じました。

(市民生活協同組合ならコープ 諸熊)



## 自然環境分科会 自然体験教室を実施しました

### 自然体験教室で繋がる成果

昨年の11月13日(日)に天理市が開催した街路樹清掃ですが、自然環境分科会でも「落ち葉感謝デー」と位置づけて広く参加を呼びかけました。さくらい菜の花プロジェクトでは、当日拾い集められたイチヨウの葉を、当プロジェクトが栽培するブルーベリーの肥料として譲っていただきました。ブルーベリーの収穫は今夏で5回目となりましたが、根元にしっかりおいた落ち葉肥料のおかげもあって、いつもより甘みが増しているように感じるとのこと。循環型の輪が広がっています。なお、今年の街路樹清掃は11月23日(木)10:00-11:30とのことです

(お問合せ先: 天理市環境連絡協議会(TEL0743-63-1001 天理市環境政策課)

(ほっとねっと 寺前)

### 稲刈り体験 参加募集!!

日時: 11月3日(金、祝) 9:30~15:00 (受付9:00より)

場所: 奈良県高市郡明日香村稲刈憩いの館前

参加費: 大人 2,000円(中学生以上)

子ども 1,000円(小学生以下、3才以下無料)

定員: 先着25組(50名)

締切: 10月20日(金)

申込・問合せ: 奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会 事務局

TEL: 0742-27-8732

E-mail: kankyo@office.pref.nara.lg.jp

(NPO法人 明日香の未来を創る会 打越

TEL: 080-1461-5492)



稲刈



はさがけ



# 《やまと菜の花ねっと》

## ～菜の花だより～

### 「山の辺の道ファンクラブ」

#### 今年の裏作は綿栽培

山の辺の道沿い、景行天皇陵前のフィールドでは、菜の花刈り取りの後、6月15日に綿の苗を移植しました。またイノシシ対策として前列にタカノツメも植えました。写真は8月3日早朝の様子です。



綿の花

可憐な綿の花がチラホラと咲き始め、タカノツメも鋭い赤色を見せていましたが、なぎ倒された後が。恐るべしイノシシです。



タカノツメ

歴史の道の景観保全のため、作業やカンパなどさまざまな形で関わってくださる会員募集中！

問合せ・申込先 (担当：さくら菜の花プロジェクト)

TEL：090-2380-0383 Gmail：hideko.nishida@gmail.com(西田)

FAX：0743-64-1802 (安岡)

### 「天理・宇陀フィールド」

#### 小学校で伝統産業の中の菜種油を学習

今年の菜種の収穫量は、宇陀市深野ファンクラブピアが33kg、天理教旭日大教会が32kg、なら橘プロジェクトが20kgでした。

昨年の秋から、天理市立柳本小学校4年生と丹波市小学校5年生が、天理市の環境連絡協議会が提供したプランターなどで菜種の栽培をしてくれていました。6月26日に柳本小学校で、7月12日には丹波市小学校で収穫した菜種から搾油機で油を搾り、油で明かりを灯したり、奈良墨の材料に使われる黒い煤をガラス板や手に付けたりするなどの体験をしました。搾油機から菜種油と油粕に分かれて出てくる様子に感激していました。柳本小学校では、地元の伊射奈岐神社の秋祭りで灯明用に油を奉納する予定になっています。



### 「葛城フィールド(エコ葛城市民ネットワーク)」

#### 楽しくたくましく資源循環学習



今年の菜種の収穫量は、495kgでした。

菜の花を題材に、市内小学校へ環境教育の出前講座を行っています。植え付けから刈り取り、収穫、搾油まで一連の作業を体験することで、資源の循環利用を勉強してもらいます。

子どもたちは、とても喜んで作業に参加します。植え付け前は、虫や蛙に怖がる子もいますが、やり出したら楽しくなってもっとやりたいと言います。

刈り取り作業では、自分より大きくなった菜種の茎を運ぶたくましい子もたくさんいます。

搾油した菜種油は、秋の遠足時に、東大寺に奉納します。



当NPO法人では、菜種の裏作に、金ゴマを植えています。

今は、まだ、草丈4、50cmぐらいで、金魚草によく似たかわいい花がたくさん咲いています。これから、1m以上に成長し、たくさんごまが実ります。



## 「奈良フィールド(大和の国・菜の花エコプロジェクト)」

### 地域の自然や歴史文化を大切に「世界遺産学習」

今年の菜種の収穫量は100 kgでした。奈良市地球温暖化対策地域協議会やナルク奈良などとの協働で、市内5つの幼稚園・小学校で児童とともに菜の花を栽培し、自然の摂理や循環の仕組みを学び、搾った菜種油を地元の寺社に奉納することで、地域の自然や歴史文化を大切にする心を育てる「ESD・世界遺産学習」を進めています。今年は賣太神社(大和郡山市)でも地元の子どもたちが育てた菜種油を8月16日の阿礼祭りにて奉納し、「世界平和・被災地復興」を祈願しました。10月15日にはさくらい菜の花プロジェクトとの協働で、菜の花の苗移植や芋ほり・木工クラフトの後、安倍文珠院までウォーキング、菜種油の奉納を行う予定です。

菜種油奉納先: 榎原神宮・高野山・大安寺・薬師寺・丹生川上神社中社・高鴨神社・大峰山寺・賣太神社



## 「桜井フィールド」

### ドレッシングで地域を元気に

今年の菜種の収穫量はチーム全体で約360kgでした。「桜井市地域しごと支援事業補助金」により、地場産の素材にこだわった菜の花油ドレッシングを商品化、「花葉」と名付けて桜井駅北口前の飲食と雑貨の店「MAGIC・MALLET (マジックマレット)」で販売しています。菜の花の圃場も25アール程増えました。



## ～橘だより(なら橘プロジェクト推進協議会)～

### 大和橘の害虫「テッポウムシ」にご注意を

県内に植えてきた大和橘がたくさんの実をつけてきました。山の辺の道周辺の畑では約35kgの収穫となりました。ところが、昨年の秋から「テッポウムシ」(ゴマダラカミキリムシの幼虫)による食害が目立つようになり、約半数で根元に虫が入ったあとの木くずが見つかりました。カミキリムシが飛んでいる姿を見たら要注意、こまめな見回りがが必要です。

5月27日、「大和橘の未来を考える会」が西大寺で開催され、大茶盛と元近畿大学教官富研一氏の「大和橘の可能性」とした講演会を開催しました。12月3日には西大寺での大和橘収穫祭イベントを予定しています。

また、なら橘プロジェクトの「橘胡椒」制作事業が、「クラウドファンディング Readyfor」で目標額に達成しました。





# 市民生活協同組合ならコープの 環境測定活動の取り組みについて



フォーラム会員である企業の  
環境保全の取り組みについて  
ご紹介します

ならコープでは奈良県の豊かな自然と文化を守り、次世代の子供たちに引き継ぐため、環境にやさしい地域づくりを組合員とともにすすめています。今年で26回目を迎える環境測定活動には、12市・18市町村から306人が参加し、「大気調査」「酸性雨調査」「河川水質調査」を実施しました。

## 《大気調査：二酸化窒素(NO2)》

平均値は、0.010ppm(昨年 0.006ppm)と昨年より高い値でしたが環境基準値(0.04ppm~0.06ppm)を超えた地点はありませんでした。

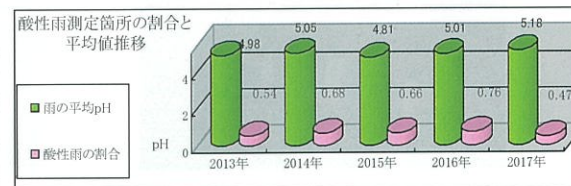
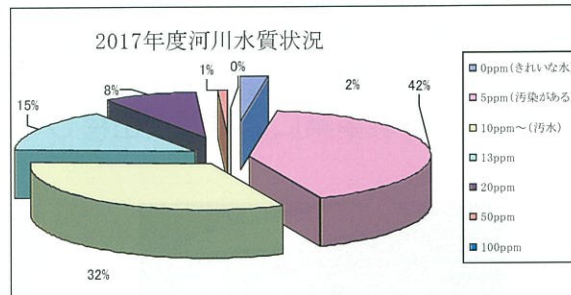
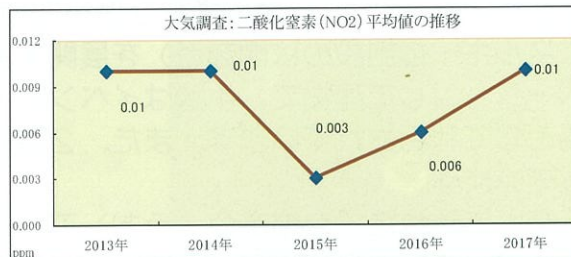
## 《河川水質調査(COD)》

測定値が10ppm以上となった地点数の割合は、56%(昨年55%)と昨年より1%増加しました。

## 《酸性雨(pH)》

今年の平均値は5.18(昨年5.01)でした。また、酸性雨(pH5.16以下)が測定された地点数の割合は47%であり、昨年の76%に比べて29ポイント減少しました。

前年と比較し、酸性雨以外、大きな改善は見られませんが、環境測定活動を通じて、これからも身近な環境について組合員とともに考え、未来の世代のために、普段のくらしの見直しなどを行い、自然環境の維持、改善活動に組合員とともに取り組んでまいります。



(ならコープ 辻本)



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

## COOL CHOICE 未来のために行動する。

2015年12月に地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」が採択されたことを受け、日本は2030年に温室効果ガス排出量を26%削減(2013年度比)することを目標としています。

「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしようという取組です。身近な生活のなかで、未来のために、今選択できるアクションを選ぶ。あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」にご参加ください。

県内の賛同(団体・個人とも)は、奈良県地球温暖化防止活動推進センターで取りまとめています。

<http://naso.jp/naso-coolchoice/>

(NPO 法人 奈良ストップ温暖化の会)

### 次世代からの環境メッセージ展 (COOL CHOICE 啓発) も開催中!!

10/18-10/22 天理駅南団体待合所  
10/30-11/4 リーベル王寺地域交流センター  
11/8-11/11 香芝市文化センター

【資料の希望・お問い合わせ】

TEL/FAX 0742-49-6730

Email otoiawase@naso.jp

### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ!」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。